

Kitakyushu Foreign Trade Association

北九州貿易情報 [2007・SUMMER]

OVER
LOOK
KITAKYUSHU

- 言志私録 ● 「人生の味」不二貿易株式会社 田坂良昭 1
- 特 集 ● 記念講演「北九州地域の経済状況について」日本銀行 前田卓郎 2
- 会員情報 ● 会員だより(山口銀行) / 会員紹介(スターフライヤー、アジア女性交流・研究フォーラム) 4・10
- ニュース ● アジア経済情報 / 大連だより 5
- 事業紹介 ● 研修事業計画 / KTIセンター稼働実績報告 / 通常総会 / 他 6
- イベント ● 福岡県内のイベント / 台北にて開催の見本市 8
- 貿易実務 ● 北九州市貿易統計 / 貿易質問箱 / 国際ビジネスアドバイザー 11



社団法人 北九州貿易協会
Kitakyushu Foreign Trade Association



不二貿易株式会社 代表取締役会長
(社団法人 北九州貿易協会会長)

田坂 良昭

人生の味

近頃色々な店で梘(フクロウ)の置物、装飾品、ペン立て、傘立て等々よく見掛けるので尋ねてみると中々よく売れているようで理由は梘(フクロウ)を「不苦勞」と理由づけて「苦勞せず^{らく}に済む」との解釈で「^{らく}楽して生きたい」との願望の象徴だそうです。特に若い人達の間でこの願望が強いそうで、世間でいう「安易」「安全」「楽好み」でしょうが、世の中そうはうまくいかないよと申し上げたい。「苦樂は表裏一体であり、紙の裏表と同じで離すことが出来ない」という真理をご存知ないとみえて、誠に可愛^{あま}というか少々平和ボケ?してるんでしょうかね。また今の若い男女は仲々の食通で色々美味しいものを食べ歩いているようですが、本物の美味がどうして出来上がるか理解されていないようです。昔から言われていることですが、物の味わいには「甘い」「酸っぱい」「鹹^{しお}い」「鹹^{しお}い」「鹹^{しお}い」「鹹^{しお}い」の五味があり、この五味が色々混ざりあうことで我々の食生活が豊かになり、美味しい料理が出来上がるのです。我々の人生についても同じことで、喜びや楽しみも人生の味なら、苦しみや悲しみも又人生の味わいであり、悲喜と苦樂、成功と失敗、陽と陰とが相伴うことで人生の味わいも一段と深くなるのであります。特に人の痛みの解る人間になる為には自ら辛酸を舐めた経験を必要とするのではないのでしょうか。

若い人達へ今一度申し上げたい。縁起物かもしれないが、「梘(不苦勞)」買いはおやめなさい。同じ買うなら「苦勞」を買いなされ。私の若い頃、父が常々言っていましたよ。「若い時の苦勞は買うてでもせよ。」と。至言です。

田坂良昭



「佐藤一斎 像」
渡辺華山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉前総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)

北九州地域の経済状況について

日本銀行 北九州支店長
前田 卓郎

日 時●平成19年5月16日(水) 16:50~17:20
会 場●リーガロイヤルホテル小倉 エンバイアルーム
参加者●130名



本日は、前半で世界経済と日本経済の状況、そして後半で北九州地域経済の状況と課題、といった内容でお話を進めていきたいと思う。

世界経済は過去30年で最も望ましい状況

まず世界の経済からお話します。米国経済は、住宅関連等で陰りはあるが、全体的には景気の腰はしっかりしているため、年後半にかけてソフトランディングは十分可能、というのが大方の見方。中国については、今や輸出とも絶対好調。北京オリンピックまでは、まず心配ないと言われている。敢えて言えば、あまりに景気の調子が良すぎて金融政策面で急に舵を切り過ぎたりしないかが若干の懸念材料という程度。ユーロエリアもしっかりとした景気拡大が続く、非常にうまく景気が回っている状況と言える。これに加え、BRICSなど新興国の経済も大変活発であり、世界経済は広い範囲で活況を呈している。昔のようにアメリカの調子が悪くなれば世界経済全体もこけてしまうといったような状

態ではないというのが特徴。先日のG7においても現在の世界経済は過去30年で最も望ましい状況であるという評価だった。

日本経済は緩やかな拡大を続けている

わが国経済についてみると、世界経済がしっかりしている中で輸出の好調が持続しており、企業部門の高収益を背景に設備投資も活発。ここ数年は緩やかな景気拡大を続けており、2003年度から06年度にかけて毎年実質GNPでほぼ2%程度の経済成長を続けている。先月末に公表した展望レポートでは、08年度までの先行き見通しを示しているが、わが国の潜在成長率が+1.5~+2.0%程度と言われる中であって、07年度、08年度の経済は2%をやや上回るペースでの景気拡大が続いていくというのがコアシナリオ。

●家計部門はやや緩慢

企業の好調さと比べると改善テンポがやや緩慢なのが家計部門。雇用者数は増えてきているが、一人あたりの賃金はなかなか

伸びていないのがその背景。

今後も続く厳しいグローバルな競争を強く意識しているため、高収益のもとでも、企業は固定費となる人件費増加には慎重な姿勢を崩していない。このため、労働者賃金の上昇という面ではかなり歯止めがかかっており、家計部門の支出がどんどん伸びてくるという感じになっていない。

●物価は中期的には徐々に上昇へ

物価については、直近の消費者物価が▲0.3%となっているなど、前回の展望レポート(昨年10月)で想定していたほど物価は上がっていない。しかし、先行きについては、マクロ的な需給ギャップが引続き需要超過の方向で推移することが徐々に反映されていくと考えられる。08年度に向けて+0%台半ばくらいまで上がっていくのではないかなというのが現時点での見通し。

●金融政策は中長期的な経済・物価見通しで判断

金融政策運営については、経済・物価情勢の改善の度合いに応じたペースで徐々に金利水準の調整を行っていくというのが基本スタンス。短期的な足許の物価状況ではなく、中長期的にみた経済・物価見通しをしっかりと確認しながら金融政策運営を行っていくことについて、改めて強調したのが今回の展望レポートのひとつのポイント。

また、低金利が長く継続されるといった楽観的な期待による行き過ぎた企業や金融機関の行動は、経済・物価等の振幅を大きくしてしまうといった点もリスクとして強調されていた。

北九州地域の経済状況——業況判断D Iは高水準

北九州地域の経済は、基本的にはわが国経済とパラレルな動きだが、当地は製造業中心であり、輸出、設備投資の好調を映じて

生産が高水準なのが特徴。日銀が四半期毎に公表している短観の全産業ベースでの業況判断D Iで見ると、直近の3月短観の数字は全支店の中で上から3番目。

私自身、当地の色々な企業の方々とお話ししている中でも、製造業を中心に全体的に明るさを感じており、楽観は禁物だが今後はまだ暫くは当地の景気は好調に推移するのではという印象を持っている。

なぜ当地への企業進出が進んできているのか

昨日の北九州市長の記者会見では、自動車産業の企業進出により、今後4年間で20社3000人の雇用を創出したいという数値目標を掲げたようだ。

ここ数年なぜ当地への企業進出が進んできているのか、その理由は3つほどある。一つは、鉄鋼業を中心とした技術力の高い素材型企業が集積されているということ、次に、高度なスキルを持った人材が豊富で、これらを活用した製造請負業務なども活発であること。さらに加えて、地震の可能性が極めて低いという特性。19年4月に公表された、政府地震調査研究推進本部の地震度分布予測地図によると、今後30年以内に震度6弱以上の地震に見舞われる確率は、静岡や甲府で8割程度、自動車産業が集積している愛知では4割、近畿や四国地方でも2割から5割といった状況。これに対し当地は1%未満といった盤石な地盤。この点、相対的にみて非常に魅力的なのではないか。

雇用面の先行きがやや気掛かり

ただ、先行きにかけて気掛かりなこともある。具体的には雇用面の問題。例えば、短観における雇用判断D Iをみると、昨年6月、9月が▲7、12月は▲12、今年の6月見通しは▲21と人手不足を感じる企業が急激に増加している。これは先行き人材が確保出来るかどうか心配だという気持ちの現われ。現に当地の有効求人倍率は1倍近くまで上がってきており、これは過去最高水準。雇用の逼迫度合いが今後どうなっていくのかが、当地の今後の景気を占ううえでは大変重要なポイントとなる。

人口動態に不安要素が!

そういう意味では結構ショッキングな数字がある。それは、本年3月に九州経済調査協会が出した「九州・山口の将来推計人口」における25年後の人口予測。九州全体の人口は25年後の2030年には05年と比べ14%

減少する姿となっているが、その中で、北九州市地域(北九州市に行橋市など周辺市町村を含む)の人口予測は、九州の各県庁所在地と比較して最も減少率が高く、23%減。実人員ベースで133万人の人口が30万人減るといふ予測で、下関市全体の人口が消えるというインパクト。

生産年齢人口(15歳から64歳)でみても74万人が54万人と3分の2になってしまう。こうした労働人口の減少が予測されている中で、本当に今後の工場進出に対応できるのか?これまでの人口流出傾向が反映されすぎという面はあるが、これが私の最大の懸念である。

ネガティブから前向きへ!

当地に着任して1ヶ月になるが、私の率直な感想は、「北九州はとても魅力があり、大好きだ」ということ。食べ物は美味しくて安いし、家賃は首都圏の半額、福岡と比べても2割程度低い。大都会の良さもある一方、緑豊かな山、海や川も多く、自然を満喫できる。このように私は思うのだが、地元の方に伝えても、「いや、新日鐵さんが4万5千人いた昔は良かったのですが」「博多には勝てんのです」そして最後には、「夜の街には気をつけてくださいよ、こんな調子で言われてしまう。ネガティブな話を並べられた挙句、「でも日銀さんは出て行かないでくださいよ」と言われてもなかなか返答に窮してしまう。

そんな方々に対して私は、『北九州はこんなに良い街です』『こんな風に変えていきたいと思っているので日銀も一緒に知恵を貸してください』、そんな感じのもっと前向きな話をしませんか」と言うようにしている。ネガティブなイメージを強調することで得るのは何もないということ。

魅力ある街としてのアピールを

人を繋留する、あるいは一度出て行った人たちが戻ってきたくなくなるような土地にするために何が必要かということをもっと真剣に考えるべきではないか。大企業がどん

どん進出している今であれば、幾らでも知恵の出しようはある。うまく動き出せば、人口の減少に歯止めがかけられ、非製造業も含め、もっと盛り返すことも可能ではないか。

私から見ると、当地の魅力をアピールしていかうという気持ちが足りない。私は北九州に赴任する時に、東京の間から「北九州って何県?」「北九州に空港はあるの?」「フグは下関、明太子は福岡だけ北九州は何か美味しい食べ物はあるの?」などと聞かれた。北九州の存在そのものが知られていないのだ。

北九州をアピールしていくコンテンツを発掘していくことも大事なのではないか。例えば名産品。且過市場で買える「糠味噌炊き」は骨まで溶けこんだカルシウム満点の美味しい食べ物として大好きだが、残念なことに空港でお土産に買ったものは骨が残っていた。細かな点だが、こうした点を見落とすのではなかなか全国区にはなれないように思う。

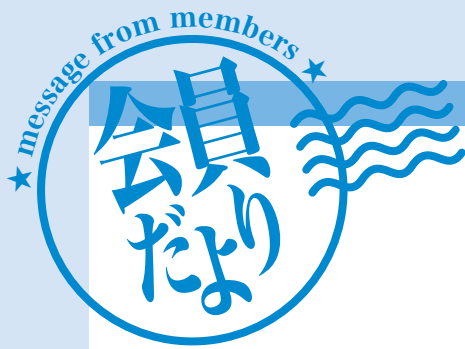
単身赴任などで北九州に来た人は皆一様に、「素晴らしい土地で、また住みたい」と言う。これは、私だけでなく多くの人たちがこの街に魅力を感じているということ。まずは、たくさんの人に一度北九州に来てもらい、この街を知ってもらう。そのためにどんな魅力ある街としてアピールするか。私も新参者としての眼で色々申し上げていきたいが、当地の方々、特に若い方々には、自虐的な懐古主義ではなく、新生北九州を作り、たくさんの人に知ってもらいたいという意気込みで知恵を結集してもらえなと思う。

今日のご清聴ありがとうございました。

※本文は、講演内容をもとに北九州貿易協会にて編集しています。



日本銀行門司支店(昭和14年当時の観光絵葉書より)



憧れの都市「青島」

文:小野 哲(山口銀行 青島支店 支店長)
撮影者:北野 重時さん



●ヨットの都

2008年の北京オリンピックまであと1年となりましたが、ここ青島でも「オリンピックフィーバー」が盛り上がりを見せています。北京オリンピックの競技は原則北京で行われますが、ヨット(青島開催)と乗馬(香港開催)のみ北京以外で行われます。そのヨット競技の開催地を青島は他の沿海都市と激しい争奪戦の末勝ち取ったのです。

以来青島は「ヨットの都」を標榜し、新市街のど真ん中にヨットハーバーを据えて周辺地区の整備をすすめるなど、ヨット中心のインフラ作りに邁進してきました。

昨年に続き今年もプレオリンピックとして国際ヨット競技大会が8月に開催されます。本番を来年に控え多くの国から参加が見込まれる大会はこの夏の一大イベントとして青島のみならず北京のオリンピック関係者も非常に注目しています。

●観光都市

もともと青島は有名な観光地・リゾート地であり、特に住宅地やオフィスから徒歩圏内に幾つもの海水浴場をもつ大都市は中国でも珍しいといえます。中国近代史における有名な政治家康有為が「碧い海、青い空、緑の樹木、赤い屋根」と謳った青島の街は中国における人気投票で「憧れの都市No.1」に輝いたほどです。

2006年には国内から2,801万人、海外からは85万人の観光客が青島を訪れています。ピークはやはり夏場で海の無い内陸部から多くの観光客が押し寄せるため青島に向かう列車は連日満席になります。観光スポットはバスやタクシーが身動きの取れない状態になり、海水浴場はまさに「芋の子を洗うよう」になります。

●ビール祭

青島の夏といえばやはりビールです。中でも地元の青島ビールは100年以上の歴史を持つ世界的ブランドで、青島の名前を世界に広める広告塔の役割も果たしています。ビールの街青島を世界に広めようと1991年に始まったのが「青島国際ビール祭」です。祭りは市内三会場で開催され中国国内はもとより日本、ドイツ、アメリカ等各国のビールメーカー20社余りが出店し期間中約300万人の人出があります。

今年のビール祭は8月11日(土)から26日(日)までの約二週間開催予定です。皆さんも是非青島にお越しになって名物のエビやアサリを着に「乾杯(カンペイ)!!」とやりませんか。

●ロウ山

青島ビールを育む美味しい水はここロウ山(ロウは山偏に勞)から採取されます。ロウ山は青島市の北東・海岸沿いに位置し、主峰「巨峰」(1,133m)は中国の18,000kmに及ぶ大陸海岸線の中で最も高い山として、昔から「海上の名山第一」と言われています。

またロウ山は道教発祥の地としても知られ「道教の名山」と言われます。海に面して建立された道教のお寺である太清宮は漢武帝の建元元年(紀元前140年)に建て始められたと言われ、境内には樹齢千年以上のさまざまな木々が生き茂り枯れたことがないと言われる湧泉もあります。



一昨年の暮れに約20年前のイメージを胸に赴任したところ先ず青島の余りの変貌振りに驚かされました。漁村の古い町並みであった東部地区は新市街として生まれ変わり、新しい市庁舎や多くの高層ビルが立ち並んでいます。当時離合も難しかった道路は6車線のメインストリートとなり、自転車やリヤカー・馬車・オート三輪はベンツやトヨタになっていました。まさに変貌する中国を目の当たりにした次第です。

北九州から青島まで1,000km足らず、東京へ行くのと同じ時間で青島に着くことができます。中国人が最も憧れる街、ヨットとビールの街「青島」へ皆さんも是非お越しください。北九州との往来が更に便利になるため近い将来北九州と青島に直行便ができることを、下関インターの近くに自宅のある私としては切に願っております。

北九州貿易協会 ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エーの提供するアジアのビジネス情報、駐大連北九州市経済事務所からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを掲載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

中国の自動車保有台数、3,800万台規模に

[中国]

商務部機電・科技産業司輸出処の支陸遜処長はこのほど、中国の自動車保有台数について、2006年末現在で3,800万台規模に達したとの見方を明らかにした。25日付国際商報が伝えた。

先ごろ開催された自動車関連フォーラムで明らかにされた。支処

長は中国の自動車メーカーについて、06年末時点で161社、一定規模以上の部品メーカーは4,600社、就業者は224万人規模に達したと分析。自動車生産国としては世界3位、消費国としては2位、潜在的な市場としては世界一になったと指摘している。【NNA】

中国のブランド消費 10年には日本並みに

[中国]

仏調査大手のIPSOSはこのほど、ブランド品の消費について、中国が2010年にも日本に匹敵する世界最大級の市場になるとの予測を明らかにした。

同社は中国のブランド品市場について、すでに20億米ドル(約2,500億円)規模に達しているとしたうえで、今後も年20%前後の速度で拡大を続けると予測している。

購入者についても、10年には現在の約17倍に当たる2億5,000万人規模に達する見込みとしており、ここ数年でブランド志向が急速に高まりつつあることや、一人っ子政策による消費額の上昇を受け、市場規模は3年後には世界最大の水準まで拡大するとしている。【NNA】

ポスコが次世代設備完成

[韓国]

国内鉄鋼最大手のポスコは本年5月30日、次世代製鉄技術「FINEX」(ファイネックス)の商用化設備(年産150万トン)の完成式を行い、稼働をスタートさせた。製鉄工程を大幅に短縮できることから、100年以上にわたり使用されてきた従来の溶鉱炉に代わる新設備として注目を集めている。同設備の稼働で来年同社の粗鋼年産能力は3,400万トンとなり、世界2位の鉄鋼メーカーに浮上する。

ポスコは1992年から次世代技術の研究開発(R&D)に着手し、

2004年にFINEX技術の開発に成功。同年8月から、総額1兆600億ウォン(約1,390億円)を投じて浦項製鉄所(慶尚北道)内に商用化設備の建設を進めてきた。

世界の大手鉄鋼メーカーも溶鉱炉に代わる新工法の開発を推進しているが、商用化に成功したのはポスコが初めてという。同社はFINEX工法に関連し、国内で224件、海外で58件の特許を出願した。【NNA】

大連だより 中国では職員と労働者の給料が四年間連続して二桁で成長

2002年の中国の職員と労働者の給料総額は13,161億元であった。

2006年には、職員と労働者の給料総額は23,439億元に達し、価格上昇の要因を除き、毎年平均13.5%伸びた。同期間の国内総生産高は、年平均10.3%伸びを示した。

伸び幅については、国内総生産より、3.2%高くなっている。

1998年から2002年までの間、職員と労働者の給料総額の毎年平均成長率は1.9倍である。

2002年の中国職員と労働者の平均給料は12,422元、2006年には、職員と労働者の平均給料は21,001元に達し、価格上昇の要因を除き、年平均12%伸びた。

同期間の一人当たりの国内生産高は、年ごとに平均して9.2%伸びを示したが、所得の伸び率は、総生産の伸び率より2.8%高くなっている。

改革開放以来、中国の職員と労働者の手取り給料が一番成長する時期である。【大連夕刊】

大連事務所
スタッフ談

統計数値の信憑性はとにかく、景気よさ、元気のよさは事実である。

大連の日本企業現地法人社長も、いわゆる「チャイナ+1」を視野に入れ、かつ、労働市場から、「消費市場」へとシフトしようとしている。

2008年北京オリンピック、2010上海万博までは、国家の威信をかけて経済成長を達成するだろうといわれている。東京オリンピックは1964年今から40年前、大阪万博は'72であった。当時、日本は高度経済成長の真っ只中、今、その姿は中国にある、ということ。

▶大連市に関する各種のお問い合わせは

駐大連北九州市経済事務所

URL ● <http://www.kfta.or.jp/jimusho.html>

TEL ● +86-411-8360-7298 (所長/新田 副所長/長田)

平成19年度 (社)北九州貿易協会 研修事業計画

目的	事業名	事業内容
貿易実務研修	貿易実務講座 (基礎編)(実務編)	貿易に関わる契約の締結から履行までに必要とされる実務の知識を 前期:基礎編及び後期:実践編とに分けて研修 基礎編は特に新人(古い新人含)の方を対象とした講義 実践編は夫々の分野に精通した講師による実践的な講義 ●料 金:(貿易協会々員優遇料金にて提供) 会員5,000円 非会員18,000円各々 基礎編・実務編両方申し込み・・・会員8,000円 非会員28,000円 ●前期実施日:6/12(火)・13(水)・14(木)・19(火)・20(水)《5日間》 事業完了 ●後期実施日:8/28(火)・29(水)・9/4(火)・5(水)・6(木)《5日間》
		
語学研修	ビジネス英会話講座 (初級コース) (中級コース)	海外ビジネスに不可欠なビジネス英会話講座(初・中級コース) ●料 金:(貿易協会々員優遇料金にて提供) 初級・・・会員6,000円 非会員10,000円 中級・・・会員7,500円 非会員12,000円 ●初級実施日:7/3(火)・10(火)・17(火)・24(火)・31(火)《5日間》 事業完了 ●中級実施日:10/2(火)・9(火)・16(火)・23(火)・30(火)《5日間》
	ビジネス中国語講座 (入門コース)	中国ビジネスに不可欠のビジネス中国語講座(入門コース) ●料 金:(貿易協会々員優遇料金にて提供) 会員9,000円 非会員15,000円 ●実施日:9/5(水)・12(水)・19(水)・10/3(水)・10(水)・17(水)《6日間》
海外事業人材育成	グローバル人材育成プログラム (中国編)	将来的に海外に派遣されることが予定されている方、 国内において国際関連業務に就くことが予定されている方、 既に従事している方を対象に国際業務に必要となる 実践的な知識や技能等を研修 ●共 催:(財)海外職業訓練協会(OVTA) ●料 金:会員・非会員とも受講費無料(ただしテキスト代のみ徴収) ●実施日:任国事情・・・・・・・ 7/5(木)・6(金)・12(木)・13(金)《4日間》 事業完了 国際人事・労務管理・・・ 9/11(火)・12(水)・13(木)・14(金)《4日間》 国際コミュニケーション 11/8(木)・9(金)・15(木)・16(金)《4日間》
経営問題解決	人事労務管理セミナー	経営の根幹たる人事労務管理事項の 職場のハラスメント・メンタルヘルス問題に関する対応策について講義 ●共 催:(財)産業雇用安定センター ●料 金:(貿易協会々員優遇料金にて提供) 会員5,000円 非会員7,000円 ●実施日:ハラスメント・・・・ 10/11(木) メンタルヘルス・・・ 11/21(水)

KTIセンター(北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター) 平成18年度稼働実績報告

KTIセンターは、「北九州貿易振興課」「ジェットロ北九州」「(社)北九州貿易協会」が協働し、海外企業との商談機会の提供、国際ビジネスに関する情報提供・アドバイスなど、地元企業の国際ビジネスを支援しています。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
来場者数	1,682人	2,351人	2,653人
相談件数	509件	985件	1,018件

(社)北九州貿易協会 平成19年度通常総会

5月16日(水)にリーガロイヤルホテル小倉において、多数の会員の参加のもと、平成19年度通常総会を開催いたしました。「H18年度事業報告及び決算」、「H19年度事業計画及び収支予算」及び「役員改選」についてご承認をいただきました。今年度は、会員企業はもちろんのこと、北九州市や関係機関・団体との連携を強化しつつ、以下5つの重点事業に取り組みます。

①貿易振興事業

～販路開拓のためのビジネスマッチング支援及び情報提供～

②貿易環境整備事業

～人材育成、経営支援のための各種講座・セミナー等を開催～

③国際ビジネスバックアップ事業

～国際経済情報センターの管理運営及び国際ビジネス支援～

④協会組織活性化事業

～会員の相互交流及び会員サービスの向上～

⑤大連事務所運営事業

～大連地区でのビジネス支援を行う
駐大連北九州市経済事務所の運営～



また、今回は初めての試みとして、総会終了後、日本銀行北九州支店長前田卓郎氏による講演会(講演録は4ページ参照)を開催し、ご好評をいただきました。

引き続き開催された会員交流会では、北橋 健治北九州市長のご挨拶に続いて園田 潤門司税関長の乾杯のご発声により開宴となり、会員の皆様の歓談の輪が広がりました。

9月グローバル人材育成《中国編》国際人事・労務管理セミナーのご案内

(財)海外職業訓練協会(OVTA)と共催で7月の任国事情に引き続き9月に下記日程にて、将来中国ビジネスに従事する人材を対称にして実践的な講義を受講料無料にて実施します。
※テキスト代1,575円は会場受付で徴収します。

- 会場:アジア太平洋インポートマートビル(AIMビル)8階 KTI小ホール
- 日時:平成19年9月11日(火)～14日(金) 9:30～16:30
- お申し込み:<http://www.kfta.or.jp/global.pdf>より御案内・お申し込みチラシをダウンロードして頂き、必要事項ご記入の上、093-522-5120宛FAXでお申し込みください。

国際人事・労務管理 (中国)

9/11(火)

【中国現地法人の人事管理問題】

【要員計画】採用/異動・配置管理/出向・転籍/解雇・退職

【賃金制度】賃金管理/賃金政策/企業年金

《講師》経営コンサルタント会社代表 内野 勉 氏

9/12(水)

【人事制度】人事制度の考え方/人事評価/職務開発

《講師》経営コンサルタント会社代表 内野 勉 氏

【メンタルストレス対処法】セルフケアの重要性/ストレスの気づき方

《講師》久留米大学専門健康心理士 伊藤 桜子 氏

9/13(木)

【労働問題と組織マネジメント】外労務全般/労働管理上の事務処理

【労務管理その1】労働法/労働契約/就業規則/安全衛生と福利厚生

《講師》C&Cビジネスコンサルタント代表取締役 平沢 健一 氏

9/14(金)

【労務管理その2】労使関係/労働組合/就業訓練/派遣労働者への対応

【労務管理ケーススタディ】事例研究

《講師》C&Cビジネスコンサルタント代表取締役 平沢 健一 氏

第29回 西日本陶磁器フェスタ

29回目の開催を迎える「西日本陶磁器フェスタ」は、ほぼ全国各産地の陶芸作家、窯元が集う作品展示・即売会です。十数万点に及ぶ陶芸作品が勢揃いするとともに、陶磁器に関連する様々な企画展などによる陶磁器産業の総合フェアです。

期 日 | 2007年9月21日(金)～25日(火) 午前10時～午後5時30分(最終日は午後5時まで)
会 場 | 西日本総合展示場・新館(福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1)
入 場 料 | 当日500円(高校生以下無料) / 前売り300円
主 催 | (財)西日本産業貿易コンベンション協会
U R L | <http://www.toujiki.jp/>

お問い合わせ先
(財)西日本産業貿易コンベンション協会
TEL.093-511-6800

エコ・テクノ2007【地球環境・新エネルギー技術展&セミナー】

地球環境時代にふさわしい環境保全・エネルギー技術を一堂に紹介し、環境技術交流を促進し、地域産業界の環境意識の高揚と環境ビジネスの発展を図る、西日本最大の環境・エネルギーの総合展です。

期 日 | 2007年10月17日(水)～19日(金) 午前10時～午後5時
会 場 | 西日本総合展示場(福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1)
入 場 料 | 無料(入場登録制)
主 催 | 北九州市、(財)西日本産業貿易コンベンション協会
U R L | <http://www.eco-t.net/kaisai.htm>

お問い合わせ先
エコテクノ運営事務局
(財)西日本産業貿易コンベンション協会
TEL.093-511-6800

北九州学術研究都市：第7回産学連携フェア

『知と技術の融合～北九州発ものづくり技術革新を目指して～』をテーマに、地域の大学・企業などの研究成果・活動内容を広く紹介し、産と学の交流の場を提供することで、産学連携の推進による地域クラスターの形成に繋げていくことを目的に第7回産学連携フェアを開催します。

期 日 | 2007年10月31日(水)～11月2日(金)
会 場 | 北九州学術研究都市内(北九州市若松区ひびきの)
主 催 | 北九州学術研究都市産学連携フェア実行委員会、(財)北九州産業学術推進機構
主な内容 | 展示会、講演・セミナー・シンポジウム、見学会、交流会
U R L | <http://www.ksrp.jp/index.html>

お問い合わせ先
(財)北九州産業学術推進機構
産学連携センター
TEL.093-695-3006

グローバル人材育成プログラム・ベトナム編

グローバル人材育成プログラムは、海外へ派遣されることが予定されている方、国内において国際関連業務につくことが予定されている方及び既に従事されている方等を対象に、国際業務に必要な実践的な知識・技能など、ビジネスリーダーとして必要な、社会・法務・税務の基本的な知識・技能を習得する任国事情(ベトナム編)を開催する。

期 日 | 2007年9月20日(木)・21日(金)・27日(木)・28日(金) 午前9時30分～午後4時30分
会 場 | オーシャン博多ビル 7階(福岡市博多区冷泉町5-32)
入 場 料 | 受講料無料(ただし教材費 1,575円は徴収)
定 員 | 先着20名
主 催 | (財)海外職業訓練協会
主な内容 | ■1回目 【社会】首藤章三氏(首藤インターナショナル(有))
■2回目 【法務】会川精司氏(株)会川アジアビジネス研究所 代表取締役)
■3・4回目【税務】浅野英治氏(ベトナム研究所)
U R L | <http://www.fukunet.or.jp/event/detail.cgi?eid=511>

お問い合わせ先
(財)海外職業訓練協会(OVTA)
TEL.092-262-2740

台北にて開催の見本市

新商品発掘やビジネスパートナーの新規開拓、情報収集に最適な見本市です

台北国際航空科学技術及び国防工業見本市

出展規模(見込み)

420ブース、来場者40,000人

期 日	2007年8月16日(木)～19日(日) 午前9時～午後5時(一般公開日:8月16日～19日)
会 場	台北世界貿易センター第1展示ホール(台北市信義路5段5号)
主 催	中華民国対外貿易発展協会(TAITRA,台湾貿易センター本部)、リードエグジビジョン社
出展内容	飛行機及び陸上支援設備、飛行機エンジン、ナビゲーションシステム及び設備、飛行管制及び監視システム、航空工業材料、航空運輸サービス及びメンテナンス、国防工業設備及び技術、空港設備、空港インテリア、スポーツ用航空機等
U R L	http://www.tadte.com.tw/

台北国際発明展及びテクノマート見本市

出展規模(見込み)

1,000ブース、来場者55,250人

期 日	2007年9月27日(木)～30日(日) 午前9時30分～午後5時30分
会 場	台北世界貿易センター第1展示ホール(台北市信義路5段5号)
主 催	中華民国対外貿易発展協会(TAITRA,台湾貿易センター本部) 工業技術研究院、台湾技術取引以上統合サービスセンター
出展内容	最新テクノロジー及び高付加価値製品、電子電気製品、機械及び土木建築材料、総合製品、国外発明品、顧客及びメディアサービス
U R L	http://www.inventaipai.com.tw

台北国際エレクトロニクス見本市開催概要

期 日	2007年10月9日(火)～10月13日(土)／午前9時～午後5時 ※最終日13日(土)のみ午前9時～午後3時
会 場	台北世界貿易センター展示ホール 展示ホール1(台北市信義路5段5号) 展示ホール2(台北市松寿路6号)
主 催	中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)、台湾電機電子工業同業公会(TEEMA)
出展内容	電子部品、メーター機器、ワイヤー及びケーブル、検出機器、テレコム及びサテライト製品、セキュリティシステム及び製品、コンピューター及び周辺機器、舞台技術及び照明機器、ワイヤレス及びネットワーク製品、オーディオ及びビデオ製品、自動車エレクトロニクス等
過去実績	2006年開催規模



参観ご希望の方は、当センターにて事前登録手続きを行っております。
また、事前お申込みの方へUS\$100(12,000円相当)のホテル宿泊クーポンをご提供致しております。是非ご参観をご検討下さい!!

	台湾国内	海 外	合 計
出展社	1,040社	72社	1,112社
ブース	2,377個	150個	2,527個
来場者	58,564人	5,063人	63,627人

U R L <http://www.taitronics.org/Taipei/>

見本市ご参観の
お申込み、詳細については
当センターへお問い合わせ下さい。

見本市によっては、
参観者様への優遇特典等も
ご用意致しております。

▶お問い合わせ・お申込み

台湾貿易センター 福岡事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号 福岡商工会議所7F

TEL.092-472-7461 FAX.092-472-7463

E-mail: fukuoka@tatira.org.tw

Member's Profile

会員紹介

株式会社 スターフライヤー

2006年3月16日、本格的な24時間稼動を可能にする新北九州空港の開港とともに、北九州ー羽田間に就航いたしました。「24時間都市型エアライン」をビジネスモデルとし、企業理念である「感動のある航空会社」を具現化するため、従来の航空会社とは明確に違うコンセプトを打ち出しております。

早朝～深夜まで多頻度運航をはじめ、安全な運航を実施するだけでなく、決して過剰ではないサービス、くつろげる空間をお客様に提供することにより、洗練された上質な時空間を創造する「新しいホスピタリティ」という、他社とは一線を画すサービスを目指しております。また、羽田ー北九州線で積み重ねてきた「安定した運航実績」と「独自の座席快適性」「一味違ったサービス」などの経験を生かし、2007年9月14日に、1日4往復羽田ー関空線へも新たに就航する予定です。今後も他社とは一味違うエアラインを目指して参りますので、ご声援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



株式会社 スターフライヤー
代表取締役社長 堀 高明

財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

(財)アジア女性交流・研究フォーラムは、1990年10月に北九州市の「ふるさと創生事業」で設立された団体で、アジア地域の女性の地位向上と連帯・発展を目指して「まなびあう」「ふれあう」「たすけあう」をテーマに事業活動を展開しています。

その一環として、国際協力機構 (JICA) の委託を受け、年2回、夏 (6月中旬～7月中旬) と冬 (1月下旬～3月上旬) にそれぞれ約1ヶ月間、開発途上国からの参加者を対象とした研修を実施しています。

研修テーマは、夏が「ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」(本年6月に第16回)、冬が「環境と開発と男女共同参画セミナー」(本年2月に第12回) です。

それぞれのセミナーの終盤には、参加各国のセミナーテーマに関する現状報告と課題(カントリー・レポート)、そして研修で得た知識・知見を活かして、どのようにこの課題を解決していくのかを表したアクション・プランの発表を行っています。



2007年版 北九州市貿易統計ができました

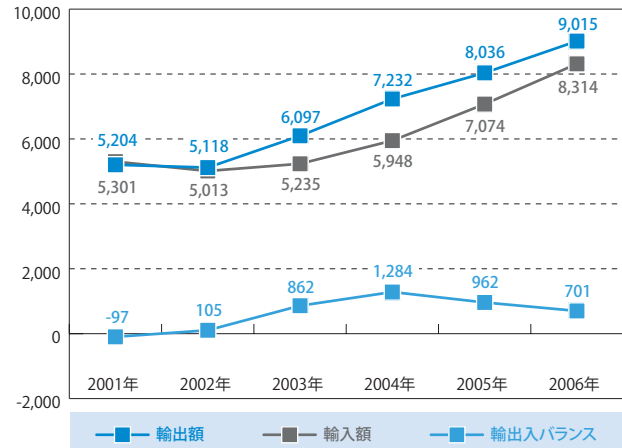
2006年の北九州港の品目別・国(地域)別貿易額(財務省貿易統計に基づく)をとりまとめた「北九州市貿易統計(2007年版)」が当協会の編集により北九州市から発行されました。その概要をお知らせ致します。

[参考] 2006年 地域別貿易額

(単位:億円、%)		
区分	地域	金額 (前年比)
輸出	全国	752,462 (14.6%)
	九州経済圏	70,090 (15.3%)
	福岡県	34,246 (9.2%)
	北九州港	9,015 (12.2%)
輸入	全国	673,443 (18.3%)
	九州経済圏	71,762 (24.5%)
	福岡県	22,502 (23.6%)
	北九州港	8,314 (17.5%)

門司税関発表による

北九州港貿易額の推移(単位:億円)



2006年 北九州港貿易額

品目別輸出入額 (単位:億円)			
区分	順位	品名	金額 (前年比)
輸出	1	鉄鋼	2,366 (15.0%)
	2	一般機械	1,722 (9.0%)
	3	有機化合物	739 (3.5%)
	4	電気機器	719 (14.5%)
	5	輸送用機器	417 (▲18.7%)
輸入	1	電気機器	845 (34.9%)
	2	天然ガス及び製造ガス	804 (15.1%)
	3	石炭	744 (▲0.4%)
	4	鉄鋼	557 (3.1%)
	5	一般機械	444 (37.0%)

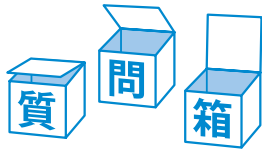
- ①輸出額9,015億円(前年比12.2%)、輸入額8,314億円(前年比17.5%)、輸出入総額は1兆7,329億円(前年比14.7%)となり、輸出入バランスは701億円の出超となった。また、輸出入額ともに、過去最高額を記録した。
- ②輸出は6年連続、輸入は12年連続で中華人民共和国が北九州港の最大貿易相手国となり、輸出入総額の28.5%を占めた。また、東アジア地域との貿易が輸出入とも全体の約4分の3を占めている。
- ③品目別輸出では、上位5品目で5,963億円と輸出全体の約3分の2を占めている。上位4品目までが増加したのに対し、第5位の輸送用機器が18.7%減と落ち込んだ。
- ④品目別輸入では、上位5品目で3,394億円と輸入全体の約4割を占めている。上位5品目に関しては、石炭が微減したものの、その他の品目はそれぞれ増加した。
- ⑤国(地域)別輸出では、上位5ヶ国で6,217億円となり、輸出額全体の約7割を占める。また、上位3カ国だけで全体の55.4%を占めている。
- ⑥国(地域)別輸入では、上位5ヶ国で5,950億円となり、輸入全体の約7割を占める。また、上位3カ国だけで全体の57.3%を占めている。

国(地域)別輸出入額 (単位:億円)			
区分	順位	国(地域)名	金額 (前年比)
輸出	1	中華人民共和国	2,022 (4.6%)
	2	台湾	1,640 (6.4%)
	3	大韓民国	1,334 (29.7%)
	4	アメリカ合衆国	720 (28.1%)
	5	タイ	502 (5.0%)
輸入	1	中華人民共和国	2,910 (15.5%)
	2	インドネシア	1,241 (24.6%)
	3	大韓民国	613 (3.2%)
	4	オーストラリア	597 (6.8%)
	5	タイ	589 (42.2%)

●北九州市貿易統計は、下記の場所にて1人1部に限り配布しています。

北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター (KTIセンター)

北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル8階
TEL:093-551-3610



(横浜税関 税関相談官室)

株券を輸出する場合の手続きについて

Q 本邦の株券を、国際郵便を利用して輸出する場合と携帯して輸出する場合の
手続きの違いについて教えていただきたい。

A 株券を国際郵便を利用して輸出する場合は、名あて国での通関を容易にするために郵便局に備えてある「税関票符」(グリーンラベル)又は「税関告知書」に必要事項を記載して郵便物に添付して、郵便局に差し出してください。

次に、株券を携帯して輸出する場合で、当該株券の価格が100万円相当額を超えるときは、外国為替及び外国貿易法の規定により、「支払手段等の携帯輸出(入)届出書」に住所、氏名、支払手段等の種類・価額等の必要事項を記入のうえ二部税関に提出する必要があります。

(参考)

- ・定義(外国為替及び外国貿易法第6条第1項第1号)
- ・支払手段等の輸出入
(外国為替及び外国貿易法第19条第3項)
- ・支払手段等の輸出入の届出(外国為替令第8条の2)
- ・支払手段等の輸出入の届出の手續等
(外国為替に関する省令第10条第3項)

「貿易実務ダイジェスト(2007年2月号)」より転載

国際ビジネスで何かお困りありませんか!?

相談無料

国際ビジネスは、商習慣の違い、言葉の違いなどからトラブルが発生することも少なくありません。海外取引に関して、次のような疑問や課題をおもちの皆様、「国際ビジネスアドバイザー」にご相談されませんか。ご要望に応じて、アドバイザーが皆様の会社へうかがいます。

- 海外から部材を安く仕入れたい
- 自社の製品・技術を海外に売り込みたい
- 海外企業の情報が欲しい
- 海外で委託生産加工ができないか
- 海外の商習慣がよくわからない
- 国際ビジネスでの契約方法が難しい

まずは、下記担当までお気軽にお問い合わせください。



a d v i s e r

●佐藤アドバイザー

長年、民間企業で貿易実務経験があり、韓国・中国等のアジアの経済事情に精通しています。経験を生かし皆様の海外取引のお手伝いをいたします。

これまでの相談例

- 「韓国から機械部品を輸入したい」というA社に、アドバイザーが韓国の市政府を通じて韓国メーカーを紹介
- 「自社製品を韓国に売り込みたい」というB社に、アドバイザーが市で実施する商談会に参加する韓国企業とのマッチングを行い、B社は取引先企業を見つけた
- 「中国企業から製品を調達したい」というC社に、中国企業とのコーディネートを行う現地機関である上海交通大学を通じて、取引相手となる中国企業を紹介
- D社で「韓国ビジネスについて」の講演を行った。参加者から「普段聞くことのない具体的な話でわかりやすかった」と好評を得た
- 「海外企業からの製品輸入を検討しているが、契約や輸入手続きなどの貿易実務がよくわからない」というE社に対して、アドバイザーが具体的な方法をアドバイスした

皆様からのご相談やお問い合わせについては、
国際ビジネスアドバイザーだけでなく、
(社)北九州貿易協会、JETRO北九州などの専門家と協力して対応します。

▶ 北九州市産業学術振興局

貿易振興課(AIMビル8階)

担当 渡辺・安藤

TEL.093-551-3605

FAX.093-551-3615

E-mail:

taizou_watanabe01

@city.kitakyushu.lg.jp

お申込みお問い合わせ